

冬季の安全運転

車の整備：バッテリー、冷却水（不凍液）、ウインドウォッシャー液（原液）、タイヤ空気圧を点検し、早めに給油する。

積載品の準備：雪落としスクレイパー、バッテリー用ジャンプケーブル、防寒具類、懐中電灯等の積載。厳冬期に車が故障し、動けなくなると、生命が危険にさらされるおそれがある（もしもに備えてAAAの会員になっておくと良い）。

凍結しやすい場所を知る：黄色地に「ICY」は「路面凍結注意」の標識です、十分に減速して走行する。橋の上、トンネルの出入口、交差点やカーブの手前や日陰は凍結しやすい。走行中のタイヤの音が静かになったときは、路面が凍っている可能性がある。

運転前の注意：厳冬期の屋外駐車では坂でない限りパーキングブレーキは使用せず、ATレバーをP（MTの場合は1又はR）にして駐車する。十分に暖機運転（安全のため車庫から出す）する。スクレイパーなどで窓やライトの雪や氷を落とす（ウインドウォッシャー液やワイパーは窓が温まるまで使用しない）。ホイールハウス内の雪や氷を落とす。

積雪・凍結路運転時の注意：米国北部の多くの車が使用する夏冬兼用のM+Sタイヤはスタッドレスタイヤ程の効果は期待できない。スピードを控えめにし、車間距離を十分にとり、急ハンドル、急ブレーキなど「急」の付く操作を避ける。ブレーキは直線部分で、早めに、ソフトに、踏む。降雪時にはワイパーを使用し、ヘッドライトを点灯する（デイルイトポジションはテールライトが点灯しないので危険）。吹雪などで視界が悪いときは無理をしないで安全な場所に一時待機する。ラジオなどにより天候の変化に気を配る。

フリージングレイン：日本では見られない現象で、水滴として降ってきた雨が、フロントガラスその他にぶつかった瞬間に凍ってしまう現象で非常に危険です。天気予報で確認し、フリージングレインが降っている間は外出を控える。既に外出中の場合は暖房を強くし、吹き出しをデフロスター（窓のマーク又はDEF）にしてゆっくりと走行する。

よくある誤解：「ABS付きだから雪道でもすぐ止まれるでしょ?」「四駆だから雪道でもへっちゃらでしょ?」どちらも間違いです、過信しないようにしましょう。

詳しくは当館ホームページから「安全の手引き」をご確認ください。